

下肢静脈瘤手術を受けられる患者様へ

(病名・症状)

私達は 入院や手術に対する不安を軽減し、最良の状態です手術を受けられるようお手伝いします。
手術後の苦痛を軽減し、順調に回復して退院できるようお手伝いします。

入院日 年 月 日
 説明日 年 月 日
 主治医 印
 担当看護師

様

	入院日(手術前日)	手術当日		術後1日	2日	3日	4日	5日	6日	術後7日(午前退院)
	/	手術前	手術後	/	/	/	/	/	/	/
食事	普通食がです。 午前の手術の人は21時より絶飲食です。 午後の手術の人は、 21時以降は水分のみ摂取できます。	午後の手術の人は、午前8時まで水分のみ摂取できます。	手術後4時間ぐらより水分をとることができます。 午前の手術の場合は夕から全粥がです。	朝から普通食がです。						
安静度	院内は自由です。		患肢は足枕で挙上します。 下肢の麻酔が覚めたらポータブルトイレ使用可能です。	院内は自由です。ただし不必要な立位は避け、ベッド上では患肢挙上して下さい。 長時間の座位は避けて下さい。						
清潔	剃毛後入浴できます。	入浴できません。		清拭(身体を拭く)						抜糸後は入浴ができます。
薬剤	寝る前に安定剤と下剤を飲みます。	午前手術の場合点滴が1本、 午後の手術の場合 点滴が2本あります。	手術後点滴500mlを2本します。 夕方の薬があれば、術後4時間ぐらいに看護師の指示で内服します。 痛み止めを内服します。	抗生物質を内服します。						
検査	剃毛(手術部位の毛を剃ります) 爪切り	更衣 注射の前に排尿をすませます。 入れ歯、指輪、眼鏡、 コンタクトレンズなど、外してあるか 確認しましょう。 (パンツは履いていてもいいです。)	尿器または麻酔が覚めたらポータブル トイレを使用します。 患肢は特殊な包帯で 圧迫してあります。	創部の痛み痒みがなければ ガーゼ交換は行いません。						● 抜糸(抜糸を必要としない 場合もあります) ● 弾性ストッキングに変更します。 着用法は入院時指導済み ですが、術後初めて着用さ れる時は一緒に行います。
処置	外来エコー室で手術のための マーキングを行います。									
説明	担当医師の診察、麻酔の説明があります。 看護師から弾性ストッキングの着 用法の説明があります。	ご家族の方は病室でお待ち下さい。	医師より手術後の結果説明があります。 なるべく安静にし、頭部を激しく動か さないようにしましょう。	体調により退院可能な場合もあります。						退院指導 下肢の静脈還流を妨げる姿勢は全経過を通じて避けて下さい。 (例)正座、あぐら、和式トイレ、長時間の立位 3日目より弾性ストッキングの着用練習を行います。 弾性ストッキングは術後2ヶ月間は着用しましょう。 それ以降も着用が望ましいです。 日常生活に特に制限はありませんが、下肢の挙上は続けて下さい。 退院後の外来受診日を確認しましょう。 運動を始める時期については、 医師にご相談下さい。
指導										
その他	準備していただく物 パジャマ(ズボンがゆったりとしたもの) T字帯 1枚 タオル 2枚	バスタオル 1枚 ストロー(曲がるタイプの物) 弾性ストッキング(購入済みの場合)	衣類・タオルは一度水洗いしておいて下さい。また血液と間違えう色や、色の濃い物は避けて下さい。 持ち物には必ずマジックで名前を記入して、手術前日の午前中までに託所に持参して下さい。							
注意事項	*数日後に反対側の手術を受ける場合は再度この説明用紙をお渡しいたします。 *手術当日、御家族の方は手術終了まで院内での待機をお願いします。 *パジャマを着用される場合は足の部分がゆったりしたものをご準備下さい。									
メモ	わからないことがありましたら、いつでもお聞き下さい。									